

名古屋市認知症コールセンター実績報告

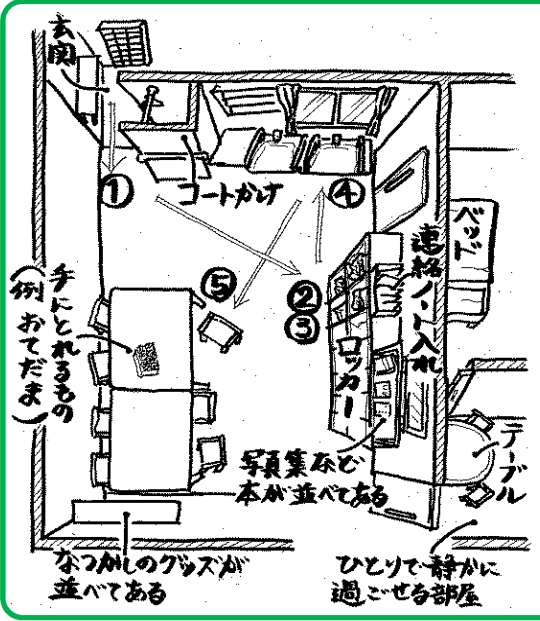
1日あたりの平均相談件数	H27年4.5月	H27年6.7月	昨年度同期(6.7月)
	3.9件	5.5件	

地域の実践より… ゆっくりでも自分でやること ～「環境」と「声かけ」～

環境と声かけなどで実現する活動

「できなかったことも繰り返しているうちに、できるようになることは少なくありません。症状の重いひとでも出来ることが多いですよ。」(スタッフ)

先日、新たに市内に OPEN した認知症デイを訪れました。建物は既存の民家を、認知症ケアの為に構造や配置を工夫して改装したものです。建物などの環境と声かけなどがあいまって、皆さん活動的に過ごされていました。(絵：「朝着いて最初にやること」)



デイサービスリビング見取図
「朝着いて最初にやること」

- ・「おはようございます！」
- ①玄関から入るとコートかけが目に入りハンガーにかける
- ②リビングへ進むと目に入るロッカーへ移動(自分の荷物を入れる)
- ③連絡ノートを出して箱に提出
- ④洗面台へ移動してうがいと手洗い
- ⑤テーブルに移動して自分の椅子に座る
- ・改めて「おはようございます！」

「乏しかった表情が豊かに」という変化を何度もみてきて

体だけでなく、頭もこころも、働きかけがないままで使わないとどんどん衰えていきます※。

※要因は様々かもしれませんが、認知症のひとつのうち「意欲低下(Apathy/Indifference)」がみられるひとの割合は、20%から経過とともに5年後に71%に増加したという報告もあります。(The IPA complete guides to BPSD 2012, Specialists guide)

認知症デイ(認知症対応型通所介護)の定員は少人数(12名)であることが特徴です。ひとりぼつりと座ったまま過ごし続けることにならないように、スタッフがきめ細かく働きかけをしています。

注意したいのは、やりたくないひとに強いているのでは決してないということです。あくまで、活動の「きっかけづくり」に徹しています。

「代わりにやった方が早いかもしれませんが、できる方にはゆっくりでも自分でやらうようにお声かけをしています。」(スタッフ)

閉じこもりがちだったひとが、参加や活動のある日常を過ごすうちに、乏しかった表情が豊かになっていく様子を、スタッフは何度も目の当たりにしてきたとのことでした。

ゆっくりでも自分でやっているひとたちが集う場所。その空間はいきいきとした雰囲気満たされているように感じました。

(下:写真)「準備の小部屋」 藤本クリニック(滋賀県)「もの忘れカフェ」



準備の部屋に入り、さあ…何を取りに来たのか?…ポケットのメモが手がかりとなり、仲間が覚えていたり、スタッフがヒントを話しかけたりします。…「持ってきたで！」役割が果たせた瞬間です。

「続認知症の医療とケア」
(藤本直規/奥村典子著)
クリエイツかもがわ2010年

何をするか皆で決めて、準備から始めて、実際の活動をし、その達成物を「展示室」に飾る。終了後の片づけも自分達で…